京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜錄

漢京より　北韓山生

▲六月五日發行の日韓實業界に「曾禰統監に對する社會の誤見」と題し芳川寛治氏が、實父曾禰前統監の爲めに試みたる辯解談といふを載せたり。▲寛治君曰く「世は統監を評して無能なり優柔不斷なりといふは果して何に原因するか言ふ迄も無く合邦尙早とせるが故であらう」と之れが氣焰の前提にて候、總る吾等の記臆する處に依れば世人は曾禰子を無能とし、且つ其頭腦を責めこそしたれ、曾禰子の合併尙早論を非難するなどは夢にも知らざることにて候。▲合併尙早は寧ろ思慮ある國民の聲として實に吾言論界に於ても期せずして一致したる所論なりしが、當時曾禰子の說には何等發表せられしこと無き位にて候得ば、曾禰子が合併を尙早となせるが爲めに世人より無能の評を受けたとは却て世人を誣ふるもの也。▲隨て「統監の理想は國民以上なり」とか「試みに合邦尙早の所以を說ん」とか「尙經濟上考究の餘地大に存す」などの否項は所謂影に吠ゆるよりも愚かしき努力と申すべく候。▲去りながら「榮職利慾に迷ふ者ならんや」とて乃父が至誠國を思ふの一念を信ぜらるの言を爲せるは、原と子たるものゝ分として當然の事に屬す、世人も亦強ちに曾禰子榮職利慾に迷へりとは思はず、此の一事は、寛治君たるもの眞に心を安じて可也。▲寛治君又曰く「彼の御用紙と稱する京城日報の如きすら素より統監の眼中には其影を止めないのである」と若しこれを事實とすれば統監府の機關紙として韓國の言論界に重きを成せる同紙は統監がれ情の給扶持を貰ひ居たるにて實は機關紙視されざりしことゝ點頭かれ候、意外にて候。▲而して意外とよりも呆れ果てしは在韓官吏の體度に關する所說にて候「男らしい男は一人も無し」と云ひ「眼中妻子と黃金とあるのみ」と云へるは、曾禰子が率ゐたりし官僚の一大恥辱なるが之れを一方より見れば曾禰子は何が爲めに爾る不埒なる官僚を免黜せざりしや、を怪しまざるを得ず、曾禰子無能の世評も或は此邊より出でしやも知れず、と言ひ度くなる也。▲要するに寛治君が爲せる乃父辨護の說は大なる失敗に了れり、弱年君が如きの能く爲し得べき事に非らざれば以後を愼まる可し、否らざれば不肖の見とて世の嗤笑を速かん。▲序に日韓實業界といふ變な雜誌が「日韓第一の實業雜誌」と稱して居れるが、餘りクダラヌことはせぬものぞと一言注意を與へ置くもの也。

●社告

統監更迭紀念號

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

▲紀念號發行日 來る六月廿五日

▲記事の內容 韓半島に關する名士の議論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數ど發行部數 約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

雜錄

鯨屋伊右門翁の鯨談（四）

捕鯨志に據れば、歐洲に於て捕鯨上に一新面目を開きたるは諸威國の北洋遙かなるスピッツベルゲンの北極鯨漁場の發見にして同漁場は十五世紀の末コロンブスの亞米利加發見以來航海業大に開け、英國の探險者は北洋を經過して東印度に航路を求めんと企圖し進んで船を北洋に向けたるも其目的には失敗したりしが圖らず此スピッツベルゲンに北極鯨の群泳場を探知するを得今より丁度三百年前英國捕鯨船二隻始めて同所に出漁して以來幾許もなくして當時勇敢の和蘭人の凌駕する所となり遂には英、蘭、佛、丁等の諸國入會の漁場となり、漁獲を恣にし、次でグリンランド及ダヴイス海峽に移りて此所にも歐米の捕鯨船は莫大なる收獲を爲したり、就中和蘭國の捕鯨船のみにても、今より二百四十二年前より同三十二年前迄百十年間に此等の漁場に於て捕獲したる北極鯨の總頭數六萬四千五百七十六頭に及べりとぞ。

此の他諸國の捕鯨數を加ふれば果して幾許に上るべきや推して知るべし米國エール大學教授ウイランド氏の調査に依れば、過去一千年間に世界を通じて捕獲したる鯨の總數は一百萬頭に達し其價二億七千二百万弗即ち我が五億四千四百圓に上るといへり

（二〇）脊美鯨の鬚 は色が黑く奇麗で彈力に富んで居る其相場は十七世紀頃ロンドンに始めて賣出された時一噸即千六百八十斤に付七百磅十八世紀に三百五十磅から五百磅十九世紀に二十五磅迄下落した事があつたそうで現品の多少に依つて相場の高下が甚しいものゝ樣である、明治四十一年のロンドン相場は北極鯨鬚一噸二千五百磅ザット日本の二万四千圓、脊美鯨鬚で一噸二千百八十磅即ち日本の二萬一千圓計りであるから脊美の鬚が百斤千二百七十圓の勘定にわたる、ロンドン市場に送るには立派に研き上げたものに限るので、凡て鬚工物にするには二十時間も煮れば全く軟かに爲つて、ドンナ細工にも思ふ儘の形に切つて使ふとが出來る、併し細工に用ゆるには鬚の心になつて居る眞中には小さな穴計りで殆んど役に立たないから、心の兩側を剝ひで(鉋で削る)短冊の樣にして使ふ、その細工の時短冊を繼合はすには鷄卵の蛋白を用いて鏝を押當てると自由に出來る。

（二一）日本と外國の鬚細工 日本の鬚細工は今より百七十年前元文の頃京都の六角に住んで居る小西八郎兵衛といふ者が始めて鯨の鬚を扇の要に使ふとを工夫した以來段々と開けて今では東洋捕鯨會社で精巧な立派なものが出來るようになつて居る、外國では重に婦人のコルセット(胸當)、傘等に使ひ粗毛は刷毛に使つて居る、今日の葡萄牙皇后アメリー陛下のコルセットは巴里製で一組百圓から百五十圓位もするそうである



地方通信

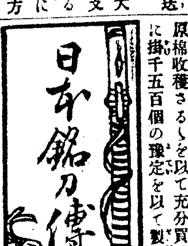
▲平壤通信

▲平壤炭の輸送額 德山海軍鍊炭所に向け輸送せられたる鑛業所平壤炭の額は五月中に於て第二種炭七千百七十噸第三種炭二千四百五十噸なりしが六月に於ては二日出帆の輿安丸にて已に四千八百六十噸を輸送し更らに廿日出帆の巴丸にて三千八百噸二十七日出帆の輿安丸にて四千八百噸を輸送すべく何れも兼二浦より鎭南浦を經て海路輸送せらるゝものなり

▲滿洲大豆と市場 大連にては滿洲大豆騰貴したる爲め豆粕業不振を極め支那商人の破產するもの甚だ多き由なるが是れに對し當地貿易商人の觀察談によれば去る五月二十日頃まで阪神地方の大豆は頻りに昂騰し普通ものにて込九圓七十錢位なりしに其後漸次下落して大豆は目下は九圓十錢位なりて昨今一般に商村けせるのみなれば右阪神相場の影響と旱魃との關係によりて滿洲大豆の昂騰せるには非ずして同地にて三井その他二三外國人が滿洲への大豆輸送につき一時に買込みたる結果俄に騰貴したるものならんと因に目下當市場にては滿洲大豆の騰貴に何等影響を受くる事なく相場も變動なく又在庫品皆無にて當用口の取引あるのみ

▲平壤の製綿近況 平壤製綿所にて昨冬來從事せる製綿は好成績を擧げ七百餘個を製造せるも目下は原棉欠乏の爲め工事を中止し居れり尤も八月より新原棉收穫さるゝを以て充分買込み來春に掛千五百個の豫定を以て製造す可と





津田近江之守（四五）

第百四十一席　邑井一講演

夫れから助直は素裸體になり、淸水の流れて居りまする所へ參りまして、數十杯の水を浴び、一心不亂に念じます、一体助直と云ふ人は大層神佛を信仰した人だ、そうでございます、それから身體を拭い、細工場は誰にも見せないやうに充分圍ゐを致して、此中へ這入つて向ふ七日七晩、日夜目も休めず遂に鍛ね上げました一振、長さ一尺三寸、自分に砥を掛け、鞘も拵らへ、柄は麻糸を持つて確と卷上げ、夫れを持つて石屋の若者の半六を案內としてやつて參りましたのは新田の六兵衛の門口 助『御免ん下さいまし 六『イヤ是はれ出でなさい……婆さん彼のれ方が石屋に在つしやる大阪のれ客人だ 婆『さうでございますか、宜うこそれ出でゝございます、此樣な穢ない茅屋で嘸れ氣味が惡うございませうが、何うぞ此方へれ這入り下さいまし 助『夫れでは御免を蒙ります、時に六兵衛殿、約束をした刀、漸々出來ました、拵らいも私の手細工、何卒當日は是れを用ゐて下さるやう』と聞いて六兵衛涙を流して喜び 六『何うも有難う存じます、貧しく暮して居りませんければ、幾らと云つて貴方に價を差上げられるのでございますが…… 助『是れはしたり、私は代を取りにいの、金錢を頂戴致したいのと云ふて拵へたのではございません、決してさう云ふ心配はなく、私の寸志、何うか御受納下されば有難いことで 六『夫れとで、貴方が一心籠めて鍛ねて下すつた此の賜物、必ず怪物は退治して御覽に入れます 助『長い話しは無用のこと、夫れなら是で別れ申します、隨分必ず丈夫にして出でなさるやうに』と懇ろに申聞いて半六を連れて助直は太惣次の家へ歸りました、六兵衛夫婦は大きに喜こび、其翌日に相成りまして 六『夫れでは婆さん、私は是れから出立して山の樣子を見定め、若し其の惡魔が出たらば、此方の命を取れるまでも、必ず退治をする考へ、後の所は何分頼む』と云ひつゝ驀て支度を致して門口を出る、六兵衛爺、見送る妻は涙を流し 婆『夫れでは爺樣よく氣を付けて 六『ア、宜いとも 婆『握飯を忘れてならない』と婆アが出す包を腰に着け、村役人から貰つた白木の弓に鷲の風切の羽を以つて矧いたる矢を負ふて、助直の鍛へて與れた一尺三寸の捧納造りになつて居たる一刀を帶て、藁の草鞋を穿しめつゝ、早く御嶽の山の入口より追々奧深く參りましたが、別段是れぞと云つて何も見當りません、鹿追ふ獵師は山を見ずと云ふが、罪のない狐や兎や狸の類を捕つたればとて何の手柄になるものか、山獵師は斯ふ云ふ少さいものを打つて里へ出て賣代なし、今日を送る其の殺生も、業とあれは仕方もないが、俺は村方のために禍ひをする惡魔を探すのだが、さても何處に隱れて居ることだかと、足に任せて山中を探し歩きました、丁度一日も經つてしまひ、既に三日三晩相經ちました、丁度四日目の用意の握飯を取出して、夫れを食べながら瓢の中へ入れた水をゴックリ一口飲み 六『今日もモウ夕方になつたが、何しろ恐ろしい山中、土地に住んで居ても此の奧へは這入つたことはない。





東京電報

▲憲兵隊長交迭 本日韓國駐劄憲兵隊長及參謀長に左の如く更迭發表されたり(十六日)

韓國駐劄軍參謀長陸軍少將正五位勳三等功三級 明石元二郎
補韓國駐劄憲兵隊長
陸軍歩兵大佐正五位勳三等功五級 榊原昇造
補韓國駐劄軍參謀長

▲御臨幸の奏請 陸軍戸山學校にては本期卒業證書授與式を來る七月六日に擧行する事に決し教育總監部にては宮中の御沙汰を伺ひ陛下の御臨幸を奏請したり(十七日)

▲博恭王御歸期 伏見若宮博恭王殿下には七月九日日本丸にて御歸朝の筈なりしも同船に惡疫發生せし爲め來る二日シヤトル御發のミンネソタ號にて七月四日横濱到着御歸朝の事に御變更あらせられたり(同上)

▲獨逸皇族入京 獨逸皇族アルブレヒト公同妃殿下一行昨夜入京し離宮に入れり來る十八日參內天皇陛下に謁見の筈(同上)

▲新統監來京期 寺內統監は來月五日出發來任すべし(同上)

▲副統監來任期 山縣副統監有吉總務長官宇佐美參與官等は本月中に來任すべし(同上)

▲陸相邸の會議 山縣副統監明石憲兵司令官宇佐美參與官書記官等は連日寺內陸相邸に會合協議しつゝあり(同上)

▲新長官の披露 新任總務長官有吉氏は昨日新任の披露を兼ね玉置書記官小松外務部長と會議したるが多分本月中に渡韓すべし(同上)

▲有吉長官談話 有吉新長官は施政方針に就て語りて曰く予は韓國に於ては未だ多くの知識を有せざるが故に詳細の意見は述べ難きも將來の施設上最も必要なるものは云ふ迄もなく日韓國民の意思疏通を圖り人心を一致せしむると共に我在留邦人の韓國に於ける生産業其他に對して充分なる保護を與へ以て其の利益を增進せしむるを必要とすと云へり(同上)

▲戰鬪射擊演習 目下各鎭守府艦隊にては射擊演習の準備中にて已に舞鶴橫須賀吳佐世保等に於ても演習を開始しつゝあり而して第一艦隊は靑森灣に第二艦隊は廣島灣に於て夫々檢定射擊を爲し之れが終了後は艦砲戰鬪射擊を開始する筈にて橫須賀の艦船は靑森灣に赴きて開始し第二艦隊は廣島灣に廻航して戰鬪射擊演習を爲し來る九月を以て該射擊演習を終了し十一月を以て優勝艦を發表する豫定なり

▲銀行家の招待 昨夜銀行倶樂部に於て中村滿鐵總裁久保田同理事荒井度支部次官の招待會を開く會する者銀行家八十餘名席上中村總裁は滿州の現狀より商業學校設置の計劃を說き滿州發展上に關する演說を爲したり(同上)

▲官制改革發表期 官制改正の實行は寺內統監赴任後に於て發表さるゝ筈なり(同上)

▲露領事館の改稱 在露國モスコー領事館は今回總領事館に改めらる(同上)

▲軍艦內のチブス 帝國軍艦石見に數名のチブス患者を發せり(同)

倫敦電報

▲日英博と審査 開會中の日英博覽會に於ては來る二十日より審査を開始し七月十四日褒賞授與式を擧行する由(十七日)

伯林電報

▲露國憲法改正 聖彼斯堡來電によれば內務大臣デルベルツキン氏議長として露國憲法の改正を附議したり(十七日)

▲獨逸の大洪水 獨逸國アルホルフンに暴風雨の爲め大洪水起り死傷者百餘名を出せり(同上)

▲クリート島問題 佛國ルタム新聞は列國は特にクリート島に使節を派遣し歐洲委員會の任命あるべき樣提議せり又官邊の言にあらざるもクリート島會議再召集さるべしと報せり(同上)

▲土勃兩國の協議 土耳古勃牙利兩國との協議は再び開始せられたり

浦潮特電

▲仲小路氏演說 仲小路次官前田正名兩氏は十四日夜浦鹽領事館に於て邦人を集め日露通商發展の演說を爲したるが直ちに歐洲に向け出發されたり(十七日)

雜報

▲憲兵隊長更迭 異相 駐韓憲兵隊は警務機關統一後に於ける中心機關として大に活動を要するものあり此際東電は明石少將の憲兵隊長轉補を報じ來れるが同少將は曩に軍參謀長として憲兵隊長をも兼任し韓人憲兵補助員制度を創設して大に其實績を收め且つ韓國に於ける憲兵の運用に關し最も經驗を有せる人なり而して久しく參謀長會議の用件を帶びて東上し或る樞機にも參劃して近々歸任すべき筈なり然れば寺內陸相が特に命を啣めて榊原現憲兵隊長と交任せしめたるは正に適材を適處に配したるものなりとて陸軍側は一般に活躍し居れりと

内部次官署理任命

內部次官は當分缺員とし松井參與官をして事務を處理せしむる事に決せる由は昨紙東電の報せし處なるが十六日付にて左の如く任命ありたり

內部警務局長 松井茂
命內部次官事務取扱
內部次官事務取扱
同警務局長 松井茂
命警視總監事務取扱

●淸國葉錢の密輸入 淸國葉錢の密輸入者楊中原なる者は屬に淸國葉錢の密輸入を爲すの形跡ある所在搜索中のところ先日取押へ調査したるに本人は山東省萊州府孫老五と共謀し本年四月十三日葉錢十万個(價格二百圓)を群山に輸入し智島郡食島に於て魚類四十圓(葉錢二萬個)分を買受け殘餘の葉錢八萬個を韓珉珠なる者に保管を託し置きたること陳述せるを以て葉錢は群山理事廳に送附したりと尚五月二十七日全羅道扶安郡邑內上市場に於て淸國葉錢五千八百六十文及同月三十日同邑內上市場に於て淸國葉錢五百二十文を發見領置したりと又咸鏡北道吉州吉城社南里雜貨商林成若なるものは淸國葉錢四十七貫を密輸入したるを發見取調たるに五月二十三日收益の目的を以て咸興なる金大汝なる者より買入れたること判明したるを以て六月六日韓國銀行城津出張所に交涉の上買上の手續を履行したりと

●昨年度印刷局缺損 度支部所管の印刷局は數年前の創立にして其の創業費は隨分莫大の資金を注入しある上に其後隆熙元年度より同二年度に亘り擴張費として四十三萬八千四圓を投じ据置運轉資金拾五万圓の內目下は四万圓を運轉し居れるが政府の支出金は隆熙一年度及三年度とも各七萬圓を支出し職員の俸給其他の經費に充當し居りて今後に於ても尚是れに相當せる經費を要し是等凡ての固定及運轉資金并に諸經費を綜合したれば非常の資金なるにも拘らず昨年度の如き僅かに千五百六十八圓二十九錢九厘の利益を見たるのみにて之れを政府の支出金七萬圓より差引く時は六萬八千餘圓の缺損を生じ且又固定及運轉資金の利息を計算すれば年々印刷局が消耗せる金は莫大のものなりと云ふ

●韓全國傳染病患者 四月中に於ける全國傳染病患者數は五百六十三人にして其中痘瘡患者四百五十二人最も多く全患者の九割を占め殘り一割は膓窒扶斯赤痢實布垤里亞等なるが痘瘡患者最も多きは忠淸南道鐵山地方なるも流行甚しからず痘瘡患者四百五十二人に就き種痘經過の有無及嘗て痘瘡を患ひしか否かを檢するに種痘善感後八年乃至十年を經たるもの十二人其他は悉く未種痘者なりき而して傳染病患者を昨年と比較するに三分の一を減じ年々好結果を顯し行けり

	隆熙四年	隆熙三年
一月	二〇一	二三三
二月	三二〇	七二三
三月	一、〇四三	一、五〇五
四月	五六三	一、二三五
計	二、一二七	三、六九六

●江原道地方の饑饉 江原道江陵郡地方は近來稀有なる旱魃にして降雨は四月中に二十一日、二十四日の二回、五日中に四日一回本月に入りて三日、四日、七日の三回ありしのみにして其雨量も極めて少なき爲め農作物に益する所なく加ふるに本月五日には強激なる西北風ありて農作物は殆んど全部枯死し就中麥は成熟季なるに非常に害を被り人民の豫想に依れば秋の收穫は例年の三分一にも達せざる見込なりと云ひ例年六七月の候には此地方の人民は馬鈴薯を常食とするも之亦目下漸く地上僅に三四寸延びたるに過ぎず細民の多くは貯藏雜穀を食盡して今は草根を食する慘狀は見るに忍びず

●商工局の漆器調査 農商工部商工局に於ては今般統營地方に於ける漆器の調査を爲す事となり廣島縣立工學校長鳥居準太郎氏に之を囑托したるが右鳥居氏は既に入京十七日同部に出頭諸般の打合を爲し十九日夜南大門發馬山に向ふ筈なりと因に農商工部工業傳習所よりも職員一人同行するに至るべしと云ふ

●雨乞に托して布敎 江原道伊川郡の耶蘇敎會は去月中降雨勘き爲め地方農民の愁色あるを察し偶々去月三十日頃に到り降雨の天候を催ふせるより雨乞と稱して祈禱を行ひたるが果然其夜大降雨あり此機に乘じて神德の效驗偉大なるを鼓吹し居れるが大に機宜に投じたるものと見え續々入會者を見るに到れりと云ふ

●大韓興學會の否運 日本留學生等の組織せる大韓興學會は其機關として雜誌を發行し居れるが元來其分子たる各種系統の寄生團にして內部の紛擾毎に絶ゆる間もなく殊に矯激なる言論を擅まゝにして快を叫ぶの傾向あるより着實なる學生は孰れも之を指揮し昨今次第に否運に傾き雜誌の發行も覺束なき現狀なりと云ふ

●各郡日語通譯配置 內部は今回增員せる各郡主事は內地より招聘せる新來者なるを以て單に韓國の事情に疎遠なるのみならず言語不通の爲め職務執行上不便多かるべきを以て內部は必ず一名の韓人日語通譯を配置する筈にて若し豫算なき時は之が經費を配付すべしと云ふ

●奥村女史令孃來韓 愛國婦人會創立者奥村五百子女史令孃後子は先頃亡母の遺蹟を踏査する爲め滿州各地巡回中なりしが來二十日頃大連より仁川に直航し愛國婦人會仁川委員部主催の五百子刀自の紀念碑除幕式に出席一場の演說をなす由なるが同氏は愛國婦人會及佛敎婦人法話會の用務を帶びて來韓する由なりと

●東洋協會の招待會 東洋協會韓國支部にては同會幹事長門田正經同評議員榊崎藏之助兩氏が不日入京に付き會員及協會學校出身者に通知して招待會を催す由なり

●韓人郡主事の增置 既報新郡主事の任命に伴ひ日語に精通せる韓人主事各一人を配置する筈にて目下夫々詮衡中なるが今や各學校の卒業者にて同資格を有する者頗る多しと

●西韓道路國庫補助 平安北道にては義州新義州間の道路を改修する事となり其經費中國庫より三千五百圓を補助する由なり

●日韓郵便合同記念 通信管理局に於ては七月一日日韓郵便合同紀念畫はがきを發行する由なり

●仁川港出入船舶 仁川に於ける一昨十六日の入港船は汕頭、九州、安東湖州の四隻(上陸男六七女一三)にして出港船は渤海、汕頭、安東、湖州の四隻(乘船男五六女一二)なりしと

●露國將校の訪問 露國陸軍中尉ベソツキ氏及び浦鹽陸軍學校生徒クロビヨツは城津より陸路元山平壤を經て入京十七日朝統監府を訪問す

●咸南農學校補助 咸鏡南道地方費を以て設立せる農學校に對し學部は今回金六千圓の補助を給する事となれり

●若松理事官入京 平壤理事官若松兎三郎氏は十六日夜入京巴城館に投宿

●宮館警視の歸仁 東上中なりし宮館仁川警察署長は十六日夜歸任したり

●畑原中尉の着任 慶州より本部附を命ぜられし同憲兵中尉は十七日着任

●電車敷設の請願 既報の如く龍山新市街軍用道路の電車軌道敷設工事は八月中に竣工の豫定なるが居留民は別に新舊兩市街を結合する線路の敷設を熱望し居り瓦斯會社に於ても鐵道管理局にして龍山橋通地下道に線路敷設を許可さるゝに於ては直ちに決行するの意あり既に請願書を提出せし由依て龍山民長は居留民の希望を齎らして一兩日中鐵道管理局を訪ひ陳情する處あるべしといふ尤も地下道を通ずる電車は普通の車臺を用ゆる能はざるも小型の電車を建造せば差閊なき見込なる由

●外國貿易上半月報 本月上半月外國貿易關稅局の調査せしもの左の如し

區別		本年分(本月上半月分)	前年同期
輸出品價	內國產	五五七、〇七八	五二八、[illegible]
	外國產	三二、五五一	一九、三五五
	計	五八九、六二九	五四七、八[illegible]
輸入品價	外國產	一、四一七、一〇一	一、六二三、四三五
	內國產	八三一	—
	計	一、四一七、九三二	一、六二三、四三五
輸入超過		八二八、三[illegible]	一、〇七五、[illegible]
通過貨物價額			二〇、二二〇

本年貿易額の港別左の如し

港別	輸出額(圓)	輸入額(圓)	計
仁川	二二七、五二一	五九八、〇三三	八二五、[illegible]
釜山	一〇六、一三三	二九二、一二九	三九八、[illegible]
元山	三三、六七〇	一三〇、一三六	一六三、[illegible]
鎭南浦	一五、三五〇	一四二、八〇三	[illegible]
京城	四、三三〇	一四六、一三四	[illegible]
群山	一四、三六〇	二七、八六五	[illegible]
木浦	一八、五〇六	二五、一二三	[illegible]
馬山浦	三、四八一	一五、八二三	[illegible]
淸津	二、二四四	三三、三二六	[illegible]
城津	二〇、一三九	一六、三三三	[illegible]
新義州	六五、五四七	二七、四九八	[illegible]
平壤	一、九五三	五〇、八〇三	[illegible]
計	五八九、六二九	一、四一七、九三二	二、〇〇七、[illegible]

●東拓漁場の密漁場 平安道に於ける東拓會社の漁場には稅關監視巡邏船と協力して淸國密漁船の驅逐に勉めつゝあるに昨今は會社の承諾を經ざる日韓の漁船多數入込みて密漁する由にて淸國密漁船の多くは密漁の意義を解せずして漁業するものにして謂ば情を知らずして犯すものなるに日韓の漁船は會社の漁場なることを知りつゝ犯すものなれば會社は之が防禦方法に就き關係諸官署と目下協議中也

●江陵土民中食廢止 別項の如く江原道江陵地方は旱魃の爲め饑饉を來し細民は草根木葉を食して僅かに露命を保ち居るが去る六日江陵郡守は郡內十五ケ面の面長を召集して農作物不作の善後策を講じ六月十五日より午炊停止を施行することを布告したり其期間は秋季穀物の收穫を待ち更に面長會議を開きて評決することとせり

●咸南觀察使の巡視 咸鏡南道の觀察使李範來は過般道內長津郡を巡視したるが觀察使の巡視は三百年來絶へてなきことなれば沿道の老弱男女は非常に悦びて送迎し長津郡に於ては面長里長學校敎員其他重立たる人民を召集して韓國の現狀は人民の逸惰安逸なる結果なりとて親切叮嚀に訓示し附は斷髮を奬勵したるに郡主事學校敎員生徒等十五名は即時に斷髮せり

●奥村女史の建碑式 既報の如く仁川東本願寺別院構內に建設せし故奥村五百子女史の紀念碑は愈々來る二十五日愛國婦人會仁川委員部主催の下に盛大なる建碑式を擧行せらるべしと云ふ

●商業會議所の決算 京城日本人商業會議所四十二年度の決算報告は既に調製を了し居たるも未だ役員會の會議に附せざりしが愈々二三日中に役員を召集し同會議に附する由

●仁川居留民會流會 仁川病院經營變更及び學校問題を討議すべき第十七回居留民會を一昨十六日開會の豫定なりしも出席議員僅かに四名なりし爲め例に依て流會となり更らに昨十七日夜開會したる筈なり

●澁谷事務官の視察 學部澁谷事務官は增戶師範學校學監と共に韓人主事二名を伴ひ十九日出發往復一ケ月の豫定を以て京元線の陸路を辿りて元山に出で更に咸鏡南道各地の學事視察を爲す由

●新入營者準備敎育 商業會議所會頭中村再造氏は本年の壯丁檢査に合格したる商工業者の爲め同入營迄の期間毎月二三回入營後服務の心得方等に資せん爲め十六日附同相當講師の派遣を軍司令部に申請したり

●水野參事官入京期 水野內務參事官北韓巡視日程は既報の如くなるが近く來任さるべき山縣副統監入京の時日により臨機變更さるべきも特に廣梁灣鹽田は視察すべしと

●書記官長と李首相 上京せし內閣書記官長韓昌洙氏は近々歸途に就く筈なるが同途次溫陽に趣き李首相同伴歸京すべしと

●各憲兵將校の歸任 豫て開會中なりし憲兵隊將校の事務打合會は既報の如く十五日を以て終了したるが各隊附將校は十七日歸任す

●木內次官の歸任期 目下東京に於て官制改正に參與し居れる木內農商工部次官は本月末歸任の筈

●明石隊長の歸任期 新任韓國憲兵隊長明石元二郎氏は東上中なりしが本月下旬頃歸任すべしと

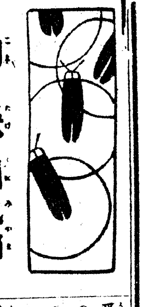
●廣梁灣の近況 人口は五月末日の調査によれば日本人二百名內外なりしが本月に入り六百名を以て算するに到れり何頃々入込來る者多く隨て正規の手續を爲さゞるものあれば實際の在住者は七百名以上なり消鹽勞働者は合計三千八百五十四人にして內支那人千〇十三人韓人二千八百五十四名なりと▲物價は鎭南浦と更に異る事なく品物により却て同地より安價し居る模樣なり而して賣行は何品を問はず頗る活潑にして各商店とも日々平均二十圓より三十圓の現金賣ありと云ふ比較的饒高の上るは陶器類にして之等は無論淸韓勞力の手に賣取らるゝものなりと▲從來同地には湯屋及び洗濯業者なく人口の增加するに伴ひ其必要に迫まられたる結果湯屋は既に開設營業しつゝあるもの二箇所あるも洗濯業者なき爲め中以上の者は砂からず不便を感じつゝありと▲料理屋は多くは鎭南浦より移住せしものにして毎夜好景氣なり酌婦は總數二十五名と云ふも無鑑札の密營業を爲すものを加ふれば三十名內外なりと▲同地は大工事新起業地の事とて知名人士の往復頻繁なるも娛樂場の如きものなきを遺憾とし二三有志相謀り總會的の倶樂部を設置すべく準備中なりと云ふ

公人私人

▲須藤素(全州財務局長)六日歸任 ▲氏野德太郎(光州裁判所長)同仁川へ ▲杉山正次(陸軍陸地測量班長)同釜山へ ▲天野康虎(平壤裁判所長)十六日入京 ▲鳥居準太郎(廣島職工學校長)同上

▲治外法權▼

憲兵隊長が代つた、謹直なる榊原が止めて豪放なる明石がなつた、之れで憲警務機關統一の準備が出來た▲明石の隊長は之れで二度目だ、此男外豪放に見ゆるが內中々に緻密で武人でありながら法律も行政も心得て居る、彼れにして御料の馬に一鞭あてなば警務の統一位なんでもない▲米國人が半島の合併に關し異議を云はぬは頭本の云つた通りだ、其證據には曾つて金子男ルーズベルトに向ひこわ〳〵乍ら半島を保護國にする由を話したときにルーズベルトは『保護國にですか』と力を入れて言つて笑つたさ豫期して居つたのだ▲大評判らしく蓋し彼は金子が保護國以上の事を云ふと聞いて居た日英博覽會もドタやらクヲスらしい、一博覽會屋のやる事へ國家が贊同したのが間違の元だ▲京城日報曰く參與官に更迭はあつても下級官吏に影響は無いから安心せよと、會計の病狀に關する大切な報道さへ京城日報の旺嘘であつた、特に下級官吏に關する事許り本當かしら▲度支部大臣が部下のヨボに韓帽を被むることを禁じた、韓國で官房に韓帽が見ゆね▲米の資本家は今度トルコ、アメリカ、聞會社を作り其手で土耳古帝國の大鐵道を貫通し、ペルシャ迄二千哩の鐵道をカケるソウだ、何と云つても米人の仕事は大きい、京元線や湖南線をオモチャにして居るのとは譯が違ふ▲萬朝報に華族の秕直しと云ふ記事がある、之れ好一對で舊姫路藩主酒井貴族院議員酒井某は目下茨城縣助川の石炭山に坑夫をやつて居る、華族だからとて馬鹿でなく遊んで喰て居られたのは昔の事だ、生存競爭の激浪は誰でも遠慮なく押流す



駒ヶ嶽と國見山

▽元氣恢復せる兩大關

駒ヶ嶽の本名は東方張出大關である、彼れは宮城縣刈谷の生れで菊池國力と云ひ本年三十一歳である、先代西の海故井筒の弟子となり十後に上つたのは三十一年五月で入幕したのが三十六年一月場所である、身長六尺二分體量三十八貫の大兵で幕下時代から第二の大砲と云はれて居た、得手は左四つ寄切り、上手投げもあり下手投げも打つ突張りもある、太刀山の鐵砲に對し受けるもので恐らく常陸と彼の二人であらふ、但し出足聊か遲い傾がある、只彼れの欠點は取口に細心ならずして屢々小敗の爲めに負けを取る事である現に此國の本場所でも隅立、緑島、鳳の爲めに敗られた、鳳は彼れの苦手で立派に負けたのは全く取口が不用意なからだ、併し大力士と取組むと豪氣なものだ、現に東國一の元氣を呼ばれた太刀山とさへ力を取り併も多く攻勢に出て居つた、此れは彼れの大膽が大力の神經過敏を制した者である、[illegible]力士三幅庭の一人として朝汐と好一對[illegible]爲め鳳のケン〳〵投に乘せられるので[illegible]鳳のケン〳〵には掛らない、併し西の海とは確かに强味多く來る一月場所には入り替つて慥かに正大關に復するであらう。

▲國見山も同じく西方の張出大關である、彼れの全盛時代は最早過ぎ去り既に年寄り放駒の後を襲ふて退隱する事と成つて居る、然るに西方の不振で彼れが近來の元氣は寧ろ低か彼れをして退隱せしむる事が出來ない、殊に五月場所は非常な元氣で[illegible]ない、十日間の內只一度駒ヶ嶽の爲めに敗れたのみである、彼れは高知縣土佐の士族で河野俊吉と云ひ本年三十三才である、二十八年一月初めて[illegible]院の土俵に上り三十三年一月に入幕し身長五尺九寸體量三十五貫其體格は常陸に酷似して居る、彼は性質頗る温厚で角力振りも君子と稱へて居る、得手は右四つ寄切り、上突張り等で全盛時代には取方で彼れの突張りを受け止めるものは常陸より外にはなかつた、然るに數年前足の關節脫臼して以來昔日の元氣なく其取口の圓熟なるは優に大關の貫祿ある、殊に小力士を相手にする時は上手で彼の怪力士太刀山と雖も未だ曾て一度も國見を倒した事がない、只缺點は腰にチバリなく土俵際に弱い事である現に此國駒の爲め破れたのも土俵際で前に落ちた、此れ彼の腰を證明するものである[illegible]駒に突き勝つて[illegible]網を張れば西方に[illegible]疑ふものはない、彼れも玆一二年は再び當年の勇を揮は[illegible]れは年寄り放駒を[illegible]相撲協會取締友綱[illegible]既に友綱の養子と[illegible]て居るのである。

油斷ならぬ水道

▽本社の水槽に蛭を發見す　▽二十萬衆の注意を促す　▽其原因を探究せよ

京城在住民二十餘萬衆の飲料水供給は大韓水道會社の經營に成り水源を纛島に貯水池を東小門外大峴の頂上に有し鐵管を通じて不斷市中に配給し來れるは世人の知る所である其の纛島に於ける濾過池の設備は遺憾なきも內部當局者も認めて居る程であるから此所を濾過した水には決して挾雜物のある可き筈はない、と吾人は信用して下紐を解て飲用するも毫も注意を拂はなかつた、然るに不思議や本社社員が朝顏を洗ふべく亞鉛の洗面器に水を汲みたるに盛んに蠢動せる物あるを發見した、然り金龍の波を切つて江心に奔騰するが如き狀をもて、蛭か、否、百足虫か、否、伸びて一寸五分、縮んで五分計りなる一匹の蛭なりき、濾過池の設備完全なる水道の水に蛭を發見すべしとは事實とは思はれず、然れども水道の水より他は汲み入れざる水槽に之れを發見したる以上は、鐵管を通したるものにあらずんば清人汲水夫を介して運ばれたるものと見るの外なし、曾て東京の水道よりも吐出されたることあり併し東京の夫れは原因判明したる以上一般に注意したれば今日にては其の事を聞かず、京城に於ては未だ其の事を聞かざりしに今年今日（十七日）此れを本社の水槽に發見したり、今日以來各人ともに大々的注意を拂ひ專用栓には袋を冠せ共用栓に依るものは白布を通じて水を汲み入るゝ如き注意を促すと同時に水道會社に對しても原因の討究を切望するものである

太皇帝に面會願

▽慶尙南道の兩班と稱す

慶尙南道咸興郡陽蜂山居住河性淳（五四）は服裝も余り賤しからぬ風體にて十七日午前十時頃東部署に出頭嘆願して曰く自分は村邑內にて屈指の兩班なるが或夜天帝夢枕に立たせられ教令を授けられしが其の趣旨は東大門外閔妃の陵外十四ヶ所の皇陵を自分の居所の附近に移すを以て自分を監督者と爲す可れば今の內に太皇帝に拜面爲し置き可然打合せ評議す可き旨に付太皇帝に面會に行んには門標必要の由に付各署に嘆願せしも下付無之依て陵の場所が貴署の管內なれば是非門標下付有之度旨證明願ふと申立るより警官は發狂の如きも整然たる言語なるに困り致し方なく兩班の證明を郡守より得て願出可しと諭したれども七八十里も遠く神命に因り步行して來りしなれば是非にと嘆願せしも該證明なき爲め聽き屆けられざりしにぞ涙を流して引取り證明取りに歸りたりとは珍なり

井門樓の枕探し

▽藝妓仲居の大恐慌

大和町三丁目料理屋井門樓本店の下女廣井きよ（二五）は二個月以前同樓に雇はれしが彼は鄉里原籍地も何處なるか不明にて各所に於て枕さがしを爲し屢々其の筋の注意を受けし所謂女破落漢なるが井門に住込むや早々某仲居の金三圓を竊取せし事判明せしも將來を戒しめ其の儘となり居しが去る十五日午後八時頃同家の女將れよしが入浴せる隙を伺ひ行李の中に仕舞ひありし現金一圓五十八錢並に印臺金指輪一個を竊取したるを同樓にては筆洞分遣所に屆出たるより憲兵出張捜査の結果前記きよの所爲なる事判明し直ちに同所に引致取調中なるが强情なる彼れは贓物は便所に投入せしと僞りを申立てたれが爲め數回便所の檢査に着手せしも元より發見すべき筈なく或は戶棚に上げしとか申立つるも元より事實に非ず目下尙は嚴重に取調中なるがきよが枕さがしをやる爲め藝妓仲居連は片時も油斷せざりし由なるが是からは高枕で寢られると喜び居れりと



女振り

南山樓女將　宮崎とよ女

おとよさんの先夫某は井門と共に殆んど京城に於ける料理店の草分で現の原金旅館の所で南山樓と云ふ料理屋を營んで居たのだが滿州地方へ旅行して歸ると直ぐに死亡したのだ、今の御亭主の櫻井丈太郎君は當時帳場をして居た、おとよさんは古い渡韓者だけに頗る韓語に堪能である、長女は菊代さんと云つて本年二十二歳である、帳場の姬野さんは即ち其の養子である、而して此の御兩人は明の味がするとか云ふ從弟同志である、續き合は姬野君のお父つあんと菊代さんの實父とは兄弟であつた、姬野さんのお父ッあんは京城でも有數な貿易商で古追君などよりはズッ卜立派な資產家であつたが不圖した事の手違ひで沒落したのである、當時は永樂町邊にお住居であつたと承知する、おとよさんにお子供衆は菊代さんを入れて四人ある、古追角次郎君の夫人の妹御さんである、其の關係からして壽座を櫻井君が引き受けたのである、何分從前から客扱ひ妓籠扱ひに馴れて居る、おとよさんの事であるからイヤ切れるにも切れるにも縱橫無盡に切り回される、氣象は鋭い方であるが然りとては人への當りは烈しくはない、經濟家であるだけに人に依ると女將さんは締り屋だと云ふ者もあるが、アノ邸で金放れが良い抔云はれたら夫れこそ一家破滅の基である、本年三十八納音が劍鋒金幹枝が癸酉の一白とある

馬賊官金を强奪す

▽安奉線溪冠山支署

本月一日午前二時安奉線溪冠山支署に於て馬賊襲來し官金一千圓を强奪したるが安東縣警察署は何故か之を秘密に附し居れりと云ふ

僞造銀貨の發見

▽韓國五十錢銀貨

仁川龍洞居住の船乘業金連壽（四四）は一昨日午後三時頃同地京町一丁目居住の雜貨商清人牟作仁（三二）方に至り木綿一疋を六圓七十錢にて買ひ十圓紙幣を出して三圓三十錢の剩錢を受取りたるが其內五十錢の韓國貨幣二個は僞造物なるを發見せしかば之れを受取らず引替を請求したるも言を左右に托して件の清人は聞き入れざるにぞ其旨巡捕廳に訴出で警官は作仁に對し說諭を爲すと共に仁川警察署と協力して該僞造貨幣の出所を嚴探中なりと云へり

就縛大官の氏名

昨紙報道「大官連の賭博」氏名は中樞院議官李址鎔前判書閔泳燐前侍從院副卿李範喬等を始め八名にして李址鎔趙漢鏞の兩名は惡運强く其場を逃走したり

●前科數犯の曲者　五月二十八日の紙上に浮浪者餘罪發覺と題し報導せし熊本縣飽託縣本庄村平民松永熊雄は西部署に於て浮浪者として拘留處分を受け當時住所氏名等を僞り居りしに彼が在鄉中熊本區裁判所に於て賭博犯に依り懲役二年罰金六十圓の缺席判決言渡され逃走渡韓し本年四月二十六日午後八時釜山驛より南大門驛着列車日本觀光團歸りの韓人紳士某を二等室に襲ひ洋服のポッケットに在中の金員を掏摸盜りたる事發覺し檢事局に送られ京城區裁判所に於て審理中の處懲役五年に處せらる

●雇人の横領發覺　原籍山口縣玖珂郡玖珂村當時米倉町七十七番戶三上方雇人中村廣助（三九）は旭町三丁目平川信吉方傭はれ中本年一月より四月に至る間に賣掛代金二十七圓餘を横領し酒食に消費したるのみならず四月廿八日集金に行くと稱し金一圓を剩錢とし携帶立ち出で數ヶ所にて八圓餘を集金したるまゝ行衞を晦ましたること此の頃に至り發覺し南部署に屆出でたるより同署に於て嚴探中の處前記の箇所に奉公し居ること判明十六日取押へられ取調べの上檢事局に送られたりと

▲末恐ろしき青年　富山縣士族當時住所不定高松幹雄（一八）は前科四犯の曲者なるが過般埼玉縣入間郡所澤町形附紺屋石川長藏宅に雇れ中現金三十五圓並に數點の物品を竊取し其儘逃走し渡韓大和町某宅に來り寄食中大和町二丁目竹內正枝宅に忍入り銘仙羽織一枚其他書籍衣類等數點を竊取し贓物は入質し酒色に費消したること發覺し南部署刑事に捕はれ檢事局に送られ京城區裁判所に於て審理中の處十七日懲役二年半に處せらる

●掏摸小市の處刑　仁川署刑事の手に暴動不審として取押へられ疑ひ晴れて放還されたる其日仁川驛より扭峴間の間に於てある美人の懷中を掏り取り何喰はぬ顏にて扭峴驛に下車せんとする處を同刑事に捕へられ元の警察に逆戾りを爲し其後京城地方裁判所仁川支部に於て審理中なりし掏摸の名人小市事桝田太作（五〇）は一昨日公判開廷の結果懲役二年に處刑せらる

●龍山の衞生事項　龍山民長は十七日衞生組長に對し向署の候組合員をして各自の衞生に注意せしむる樣訓達したり▲龍山警察署と同民團と協力して市內街路の撒水を勵行すべく夫々沿道の居住者に撒水方を命せしが追々若干の効はあるべしとの噂さあり

●行路病者の收容　神戶市平民蓮沼字一（三〇）は十六日午後四時頃青坡通り街路に病臥し居るにぞ警官取調べしに梅毒に罹り身體の自由を失ひ居るより行路病者として民團に引渡したり

●赤痢患者の死亡　大和町二丁目池田庄吾なる者は赤痢病に罹り青坡病院に入院治療中の處十六日朝死亡す

●龍山の無料種痘　龍山民團にて此程施行せし種痘接種者千七百三十七人にて尙多數接種漏ある爲め目下龍山醫院をして無料種痘を行はしめ居れり

●基督教傳道會　旭町四丁目日本基督教會にて外村義郞、ゴルボルド兩氏を招聘し連夜傳道會開催の由は既報の如くなるが十八日午後八時より左の通り執行せらるべしと云ふ

唱歌指導者　ゴルボルド君

信者の理想的生活　外村義郞君

●壽座の人形芝居

▽天狗連中の出語り

御成座劇場開の爲め來韓せし岩井一座の人形芝居は十七日より再び壽座に開演せり今回は普通狂言の外に每日三段宛當地天狗連の出語りある筈なりと云へは定めて好評を博す可く尙ほ天狗連の出し物は多く切り狂言なれば座附き太夫は隨つて前に廻さる可くされば每日正五時を以て開幕する由

▲海水浴と夏むし　小兒に海水浴をさせるには日光の直射しない期間を選み初期は五分間位が適當で、只珍しさに長く浴つて居て惡寒を感じるやうなのは不可それから追々暑氣に向つて「なつむし」といつてかせもの大なやうなのが出來て折角の可愛いお顏を無慘に金米糖のやうにする事がある、あれは出來る顏と出來ないのとあるさうですが親達が注意して汗が發たら水で拭いでやるとか又天瓜粉から起床た時など湯浴を使はすやうにすれば幾何か未發に防ぐ事が出來る、湯浴は普通一日一回が適當でありますが暑い期節は汗を洗ふために一日二回位使はせて成べく汗をその儘にして置かないやうに仕ないと「なついむし」はお國手達も隨分困られるさうですし癒つた跡が禿になつて見苦しいものです

今日の運勢

六月十八日舊五月十一日●六白先負甲寅成二りんぼ△一白●受動的と退守的の事大吉●抵吉着信待人等は空し△二黑●平凡の日大抵差障りなし旅行命名披露及新事凶△三碧●新事見合せの事△四綠●重品授受貸借決算紛紜起り易し△五黃●邪魔を受くる事多し尙盜害橫領防ぐべし△六白●自負に傾き失敗あり保證引受事を禁ず△七赤●委任委托連帶連台運盟に忌む尙金品授受及證劵の事間違起らんとす△八白●軋轢葛藤諍訟起らんとす遺失防ぐべし△九紫●怒情を挑發され易き日とす尙精算決算に忌む●親疎の者の世話煩累あり新事見合せの事（本町五丁目三一館判斷）

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話二千四百〇九番
ゑり徳商店

懷中良藥

仁丹主効
▲惡酔宿酔 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の欝 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲齒の痛 ▲音聲美し ▲酒實味增 ▲惡疫豫防



消化と毒けし
快々として樂まぬ人
仁丹飲めば心底より愉快になる

梅毒新藥


▼逆上さ ▼便秘と ▼體毒には
に限る
代理店 京城 新井藥房

當會社製造シャンペンサイダーは大方各位の御愛用を蒙り日に月に販路擴大を來し光榮此事に存候然るに官憲の周密なる御檢査を經て既に搬出濟のものは素より目下製造中のものに至る迄飲料適品と認定せられ候尤去月十六日分に限り浮流物を認められ棄却仕候這は幸にして未だ販賣ものに有之花主各位へ御迷惑相掛けざりしは仕合に存候要するに檢査の嚴密を加ふる丈に花主各位へ御滿足を與ふる次第に有之當會社は進んで檢査を乞ひ完全なる飲料を供給可仕候間御疑念なく當社製品御專用あらんことを懇願仕候 頓首

仁川 ラムネ會社

追而五月十三日付を以て日附添附致すべく御達を受け十四日印刷致候次第に付其以前販賣の分は日附添附無之候得共既に適品と認定相受候間承知置被下度候

夏の食道樂

一刻千金の春の夢、名殘なく消ねて綠蔭の下、幽草の邊り涼風迎ふ今日此頃こそ食道樂は實に京城唯一の樂境なり呼べば應ふる南山の景色と對ひ不斷に送る淸風を懷ろにし一杯を酌むの愉快は他に求むべからざる所殊に此厭味なき小ざつぱりした取りなしと色氣のない所に自から精神のすが〳〵しきを覺ゆるものあり食道樂の誇りとする所實に玆處にありて開業以來一日の如く變らず倦まず懸命に實行し來りたる特色にして他に其類なき京城名物に候

さて又夏の料理としては氣の利きたる珍品を撰むは勿論特に衛生上の注意を怠らず更に季節ものとして別に

うなぎ蒲燒並に丼
アイスクリーム

をも相聞ね御賞味を仰ぎ候元より尋常の出來合品とは聊か其撰をことにしたる自慢の品たるべく何れも食道樂一流として從來の料理並に壽司同樣御ためしの上御高評願上候

追而各品何れも多少に拘らず出前の御用に應じ可申候へ共「アイスクリーム」に限り出前は五杯以上の御注文に限り候豫め御承知願置候

京城壽町二丁目
食道樂
電話九四四番
うなぎとアイスクリーム

景福宮拂下建物温突賣却
瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目(電話一一四九番)
酒井組出張所

御料理 貸席
和樂園
高田家
○料理は萬事行届て高尚
○閑内は至極閑靜にして別世界
○土地は高燥にして見晴し京城一
殊に大廣間設備も有之御集會宴會には精々便利に御用命に應じ候
△米倉町(電九三七番)

醬油 足袋
龍
麻裏 和洋酒雜貨 販賣
龍山元町三丁目(電話三二九番)
中谷商店

石川表具店

統監府御用 宮内府御用
軸物表裝 金銀屏風 額面 椽張(?) 壁張 天井
京城曙町(電話一一八七番)

主任 柴田表具部
表具部開業
額屏風天井壁張及表裝一切並書畵の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
員 網島久雄 光小太郎
電話(五六八)

建築業 柴田芝六
京城旭町三丁目
電話五百六十八番

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

內科 外科 小兒病 梅毒淋病
入院隨意
高井醫院
京城壽町三丁目
電話二二六
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋老舖賣買 人事百般其他
周旋業
京城明治町一丁目勸商場前(電話一一九八)
明治屋

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢) 一等(二圓五十錢) 二等(一圓八十錢) 三等(一圓五十錢)

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クッ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹼香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 手袋沓下袋物類

正札 一 引なし

官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

明治卅年七月創立
東京海上運送火災保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

●婦人良藥 子宮病血の道


●如何なる難病も三週間に全治す

大
命
萬
特約販賣自製
味噌醬油製造元 漬物問屋
大上商店
京城本町五丁目
(電話二五一番)
ビール 新茶 大賣出し

官衙御用
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京 ランバーダ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
東京 [illegible]合資會社[illegible]特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 新橋電話三六九二



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十三番)

本店開業拾五ヶ年祝

弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白

瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店

時計卸商 喜多金光堂本店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町二丁目(電話一〇二五番)
右特約店 金化堂時計舖
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話三一八番)
各地方より御注文は發送實費申受候